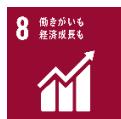




エコアクション21  
2024 年度版  
**環境経営活動レポート**  
《活動期間 2024 年 5 月～2025 年 4 月》  
**株式会社 リサイクルクリーン**



## 経営理念

2

リサイクルクリーンは、顧客満足、順法の精神、資源を守る心を誇りにし、あらゆる環境変化のなかで常に進化し続ける企業集団を目指します。

- ・ 顧客満足

常にお客様が喜んでくれるサービスを考え提供し続ける。

- ・ 遵法の精神

関係法令を遵守する。法律に背かない。

- ・ 資源を守る心

循環型社会構築へ向けて、リサイクル率の向上。

埋立、単純焼却の廃止

- ・ 常に進化し続ける企業集団

あらゆる変化に柔軟に対応する。

全社員が共に学習し、自らの能力を発揮する。

＜制定日 平成17年5月1日＞

静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41

株式会社 リサイクルクリーン

代表取締役 藤城 太郎

## 1 組織の概要

1)会社名	株式会社 リサイクルクリーン				
代表取締役	藤城 太郎				
所在地	〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41 TEL 053-925-1366 FAX 053-925-6030 HP <a href="http://www.recycle-clean.co.jp">http://www.recycle-clean.co.jp</a>				
事業内容	一般廃棄物（市町村委託、事業系）の収集運搬業、産業廃棄物の収集運搬・中間処理、RPF 固形燃料の製造業、不動産の売買・仲介及び賃貸業、建築工事・土木工事・建物解体工事業、再生資源卸売業、清掃業、再生骨材の販売、自動車小売業、損害保険代理業				
設立	昭和 62 年(1987 年)3 月 27 日				
資本金	8,200 万円				
年間売上	65.3 億円(2024 年度)				
従業員	327 名(2025 年 6 月末日現在)				
敷地面積(全社) 66,696 m <sup>2</sup> 延床面積(全社) 15,970 m <sup>2</sup>					
事業規模					
廃棄物処理量	一般廃棄物収集運搬量	7,793t/年(2024 年度)			
	産業廃棄物収集運搬量	115,914t/年(2024 年度)			
	感染性廃棄物収集運搬量	163t/年(2024 年度)			
	産業廃棄物中間処分量	153.654t/年(2024 年度)			
	紙類(段ボール、新聞、雑誌)収集量	12,947t/年(2024 年度)			
	その他(空き缶、古着等)収集量	671t/年(2024 年度)			
2)会社名	エコテック 株式会社				
代表取締役	藤城 太郎				
所在地	〒503-0322 岐阜県海津市平田町土倉江東 478 TEL 0584-66-4781 FAX 0584-66-4791				
事業内容	コンピューターならびに周辺機器の回収及びそれに伴う資源再利用、技術に関するコンサルタントならびにシステム開発事業、装置・機械類の製造販売。 一般廃棄物並びに産業廃棄物の処理。				
設立	平成 9 年 3 月 10 日				
資本金	3,000 万円				
年間売上	1.3 億円(2024 年度)				
従業員	13 名(2025 年 6 月末日現在)				
敷地面積	2,770 m <sup>2</sup> 延床面積 1,250 m <sup>2</sup>				
事業規模					
廃棄物処理量	産業廃棄物収集運搬量	216t/年(2024 年度)			
	産業廃棄物中間処分量	303t/年(2024 年度)			

環境管理責任者 袋井工場長 山田 知毅 本部事務局長 営業部主任 鈴木 高史  
連絡先 TEL 053-925-1366 FAX 053-925-6030

## 許可及び届出一覧

事業の範囲 ((株)リサイクルクリーン 許可行政区域、許可番号、有効期限)

許可種類	県・市・町名	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物処分業	静岡県	02221000340	R4.10.13	R11.10.12
	浜松市	06321000340	R4.10.9	R11.10.8
産業廃棄物収集運搬業	静岡県	02201000340	R4.12.2	R11.12.1
	愛知県	02300000340	R7.5.19	R14.5.18
	三重県	02400000340	R4.1.17	R8.11.16
	富山市	08505000340	R5.9.17	R12.9.16
	福井県	01801000340	R4.6.15	R11.6.6
	山梨県	01900000340	R6.2.1	R13.1.31
	岐阜県	02100000340	R6.2.12	R13.2.11
	神奈川県	01400000340	R6.3.26	R13.3.10
	長野県	2009000340	R6.5.27	R13.5.26
特別管理産業廃棄物 収集運搬業	静岡県	02252000340	R4.12.2	R11.12.1
	愛知県	02350000340	R5.6.10	R12.6.9
一般廃棄物収集運搬業	浜松市	第33号	R7.4.1	R9.3.31
	磐田市	第18-01-025号	R6.4.1	R8.3.31
	袋井市	袋井市事業系一廃許可第24号	R6.4.1	R8.3.31
	袋井市	袋井市家庭系一廃許可第11号	R7.4.1	R9.3.31
	掛川市	掛環ご許可第9-2号 31号	R5.9.22	R7.9.21
	御前崎市	御市環許可第41-9号	R6.1.29	R8.1.28
	藤枝市	藤環指第1-19号	R6.4.1	R8.3.31
	森町	森生還許可第10号	R6.4.1	R8.3.31

※色付きの枠は優良認定の許可証です。

事業の範囲(エコテック(株) 許可行政区域、許可番号、有効期限)

許可種類	県・市・町名	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物処分業	岐阜県	02120053003	R4.10.9	R11.10.8
産業廃棄物収集運搬業	岐阜県	02100053003	R7.3.20	R14.3.19
	静岡県	02201053003	R5.3.2	R12.3.1
	愛知県	02300053003	R3.4.26	R8.4.25
	三重県	02400053003	R3.1.6	R7.12.25
	富山県	01601053003	R6.12.4	R11.12.3
	石川県	01709053003	R7.2.26	R12.2.25
	福井県	01805053003	R5.8.21	R10.8.19
	滋賀県	02501053003	R3.5.10	R8.5.9
	長野県	2009053003	R3.9.21	R8.9.20

※色付きの枠は優良認定の許可証です。

## (株)リサイクルクリーン行政区域別収集運搬取扱品目一覧

廃プラスチック類～ゴムくず(青の塗りつぶし)=産業廃棄物

感染性産業廃棄物、引火性廃油(黄色の塗りつぶし)=特別管理産業廃棄物

※1 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物を含むものに限る

※2 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物

砒素又はその化合物、セレン又はその化合物を含むものに限る

※3 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、シアン化化合物を含むものに限る

エコテック(株) 行政区域別収集運搬取扱品目一覧

## 産業廃棄物処分業(中間処理)詳細

品目名	許可施設設置工場(処理方法)								
	第一	第二	大川	袋井	袋井 RPF	岡部	磐田	桜台	エコテック(株)
廃プラスチック類	破碎	破碎	破碎 圧縮 溶融固化	破碎 圧縮 切断 溶融固化	固体燃料製造	破碎 圧縮	—	破碎 溶融固化 圧縮	破碎
紙くず	破碎	破碎	破碎 圧縮 溶融固化	破碎 圧縮	固体燃料製造	破碎 圧縮	—	破碎 溶融固化 圧縮	—
木くず	破碎	破碎	破碎 溶融固化	破碎	固体燃料製造	破碎 圧縮	—	破碎 溶融固化	—
繊維くず	破碎	破碎	破碎 圧縮 溶融固化	破碎 圧縮 切断	固体燃料製造	破碎 圧縮	—	破碎 溶融固化 圧縮	—
金属くず	破碎	破碎	破碎	破碎 圧縮	—	破碎 圧縮	—	破碎	破碎
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	破碎	破碎	破碎	破碎	—	破碎	破碎	破碎	破碎
がれき類	破碎	破碎	破碎	破碎	—	破碎	破碎	破碎	—
汚泥	—	—	※溶融固化	—	—	—	※改質固化	—	—
動植物性残さ	—	—	溶融固化	—	固体燃料製造	—	—	溶融固化	—

※大川工場の汚泥は日本たばこ産業のたばこカプセルに限る。磐田工場の汚泥は建設汚泥に限る。

## 工場別廃棄物保管量

工場名	中間処理前保管量	中間処理後保管量
第一工場	549.50 m <sup>3</sup>	518.00 m <sup>3</sup>
第二工場	658.00 m <sup>3</sup>	80.00 m <sup>3</sup>
大川工場	1565.92 m <sup>3</sup>	757.90 m <sup>3</sup>
磐田工場	2868.30 m <sup>3</sup>	2946.70 m <sup>3</sup>
岡部工場	1330.00 m <sup>3</sup>	588.00 m <sup>3</sup>
袋井工場	554.00 m <sup>3</sup>	583.84 m <sup>3</sup>
袋井 RPF 工場	686.75 m <sup>3</sup>	192.15 m <sup>3</sup>
桜台工場	1904.02 m <sup>3</sup>	330.00 m <sup>3</sup>
エコテック(株)	55.00 m <sup>3</sup>	47.00 m <sup>3</sup>
合計	10129.49 m <sup>3</sup>	6023.59 m <sup>3</sup>

## 産業廃棄物処理能力一覧表

事業所	施設名	品目(廃棄物の種類) 単位t／日								
		廃プラ	紙くず	木くず	繊維	金属	ガラ陶	がれき	汚泥	動残
第一	破碎	4.2	2.94	4.64	3.09	6.99	18.14	4.97		
	破碎						17.6			
第二	破碎	4.78	5.13	8.19	13.6	12.56	39.49	15.01		
大川	圧縮	323.04	350.4		350.4					
	破碎	68.9	137.8	160.8	137.8	459.4	344.6	413.5		
	破碎	73.39	21.55	66.28	15.4	133.44	204.6	264.64		
	破碎(蛍光灯)	4.377				4.377	4.377			
	溶融固化	26.2	28.1	24.7	27.6				25.2	25.2
桜台	圧縮	486.96	486.96		486.96					
	破碎	73.39	21.55	66.28	15.4	133.44	204.6	264.64		
	破碎	108.48	108.48	108.48	10872					
	溶融固化	78.24	77.04	76.64	74.88					76.08
磐田	破碎						108.8	256.0		
	改質固化								9.93	
岡部	圧縮	148.16	97.68	95.2	87.44	79.44				
	破碎	45.7	45.7	70.6	95.5	124.6	207.6	481.6		
	破碎	3.85	3.24	4.12	5.15	5.34	10.86			
袋井	圧縮	148.16	97.68		87.44	79.44				
	破碎	69.3	69.3	107.0	144.8	188.9	314.8	730.3		
	破碎	21.7	30.4	63.8	36.4	59.3	138.3	229.2		
	溶融固化	0.33								
	切断	16.30			5.80					
袋井 RPF	固形燃料製造破碎	172.80	168.24	172.80	169.68					168.24
	固形燃料製造圧縮固化	169.92	168.48	168.48	168.48					168.48
エコテック(株)	破碎					640	640			
	破碎	560								
	破碎						2			
	破碎	1.42								

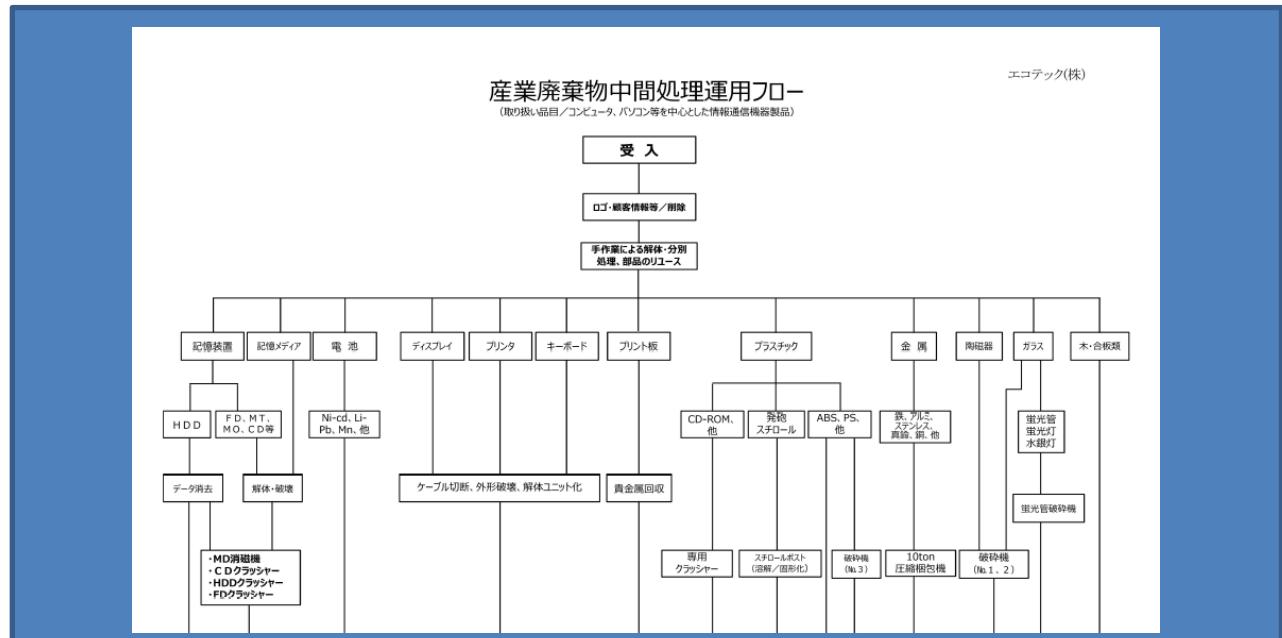
(株)リサイクルクリーンの営業範囲は静岡県と愛知県東部(三河エリア)となります

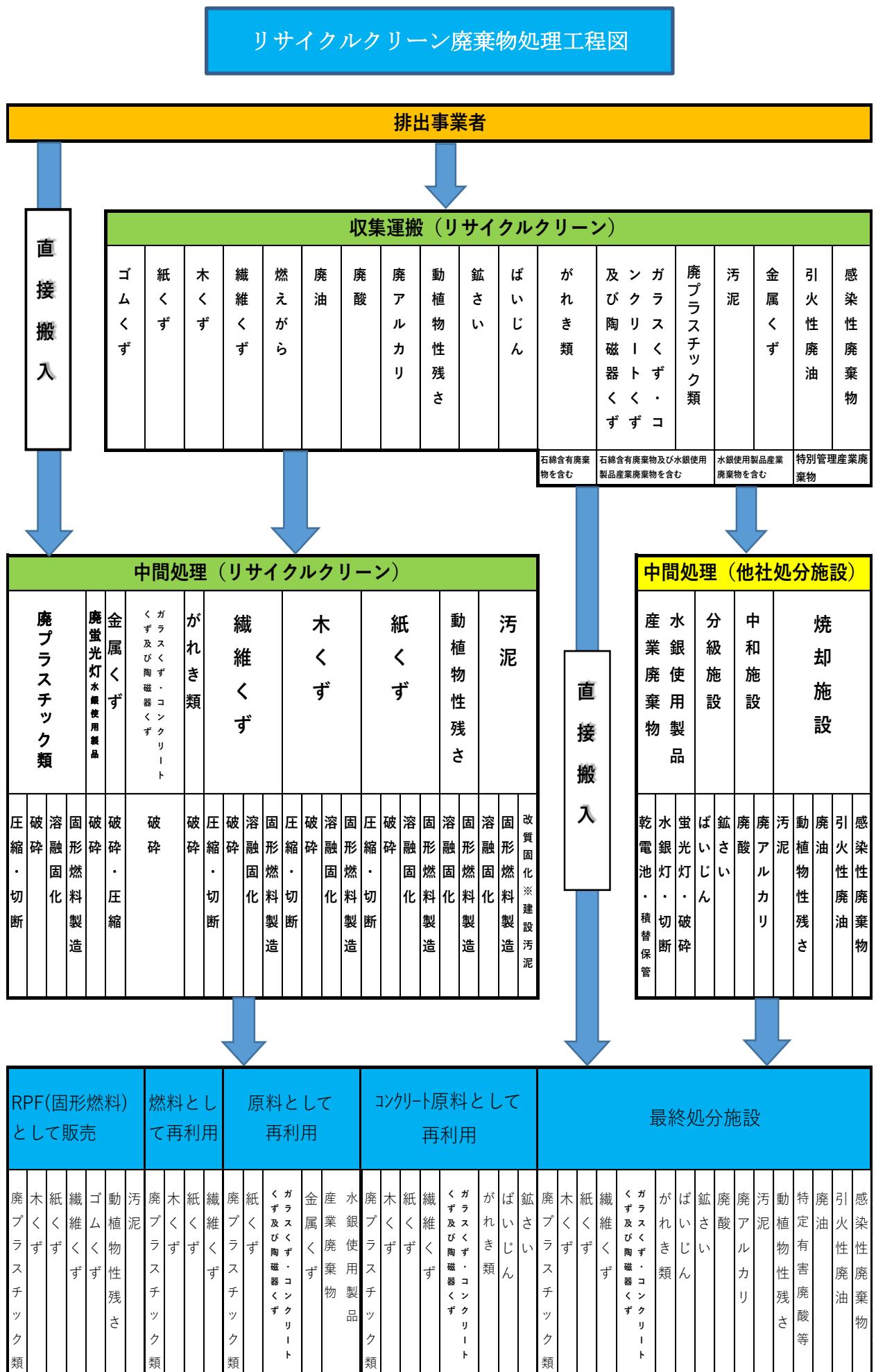


#### 産業廃棄物・一般廃棄物登録車両台数表(利用目的別車両保有台数一覧)

車体の形状	積載量	登録台数	使用制限
キャブオーバ (移動式クレーン車)	10トン	1台	なし
	6トン	7台	なし
	4トン	31台	なし
キャブオーバ (平ボディ車)	1トン(貨物車)	1台	なし
	2トン	6台	なし
	3トン	1台	なし
	軽トラック	2台	なし
脱着装置付コンテナ専用車 (Fロール車)	10トン	3台	なし
	4トン(大型シャーシ)	5台	なし
	4トン	20台	なし
	2トン	4台	なし
コンテナフルトレーラ	10トン	1台	なし
ダンプ	10トン	3台	なし
	2トン	2台	なし
塵芥車(パッカー)	4トン(産廃用)	5台	なし
	2トン(産廃用)	10台	なし
	2トン(一廃用)	14台	なし
	浜松市受託車両	19台	なし
冷蔵冷凍車	2トン	2台	なし
ステーションワゴン他 (営業車)		17台	なし
エコテック(株) ワゴン車		1台	なし
エコテック(株) バン	3トン	1台	なし
エコテック(株) バン	4トン	1台	なし

エコテック(株) (株)リサイクルクリーン 産業廃棄物処理工程図





## 2 レポートの対象期間、発行日及び対象範囲

### ① レポート対象期間及び発効日

対象期間 2024年5月1日～2025年4月30日 発行日 2025年7月19日

### ② 対象範囲（対象の事業所）

本社工場 〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 42-1(第一・第二工場)

敷地面積 5,164 m<sup>2</sup> 延床面積 1,105 m<sup>2</sup> 従業員数 17名 所属車両台数 16台

産廃処分量 1,339.1t/2024年度 処分方法:破碎

大川工場 〒431-3755 静岡県浜松市天竜区大川 457-15

敷地面積 9,606 m<sup>2</sup> 延床面積 3,250 m<sup>2</sup> 従業員数 58名 所属車両台数 35台

産廃処分量 11,722.5t/2024年度 処分方法:破碎、圧縮、溶融固化 \*RPF生産工場

一廃収集運搬量 1,932.8t/2024年度

磐田工場 〒438-0002 静岡県磐田市大久保 729-1

敷地面積 6,580 m<sup>2</sup> 延床面積 一 従業員数 7名 所属車両台数 3台

産廃処分 65,275.3t/2024年度 処分方法:破碎、改質固化 \*再生碎石販売施設

岡部工場 〒421-1102 静岡県藤枝市岡部町宮島 963

敷地面積 9,606 m<sup>2</sup> 延床面積 3250 m<sup>2</sup> 従業員数 37名 所属車両台数 15台

産廃処分量 13,948t/2024年度 処分方法:破碎、圧縮 一廃収集運搬量 17t/2024年度

袋井工場 〒437-0011 静岡県袋井市村松 1553-9

敷地面積 19,372 m<sup>2</sup> 延床面積 4,594 m<sup>2</sup> 従業員数 44名 所属車両台数 21台

産廃処分量 15,657t/2022年度 処分方法:破碎、圧縮、切断、溶融固化

一廃収集運搬量 1,081t/2024年度

袋井 RPF工場 〒437-0011 静岡県袋井市村松 1553-9

延床面積 ※1853 m<sup>2</sup>(袋井工場敷地内に新設) 従業員数 16名

固形燃料製造量 14,955.9t/2024年度 処理方法:固形燃料製造(破碎 圧縮固化)

桜台工場 〒431-1104 静岡県浜松市西区桜台 5-108-4

敷地面積 6,260 m<sup>2</sup> 延床面積 2,250 m<sup>2</sup> 従業員数 42名 所属車両台数 16台

廃棄物処理量 20,030.9t/年(2024年度) 処分方法:破碎、圧縮、溶融固化 \*RPF生産工場

浜松営業所 〒431-3115 静岡県浜松市東区西ヶ崎 1001-1

敷地面積 3,412 m<sup>2</sup> 延床面積 2,197 m<sup>2</sup> 従業員数 50名 所属車両台数 35台

一廃収集運搬 4,761.8t/2024年度 資源物 13,618t/2024年度 リサイクル資源物の収集

協同センター 〒434-0015 静岡県浜松市浜北区於呂 4000-1

敷地面積 1.367 m<sup>2</sup> 延床面積 21 m<sup>2</sup> 従業員数 2名 所属車両台数 2台 \*新車中古車販売

管理・不動産部 〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 1534-10

敷地面積 324.27 m<sup>2</sup> 延床面積 55.48 m<sup>2</sup> 従業員数 2名 所属車両台数 1台

営業部、事務部 〒431-1103 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41(第一工場敷地内)

従業員数 32名 所属車両台数 20台

営業部解体班 〒431-1103 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 41(第一工場敷地内)

従業員数 7名 所属車両台数 9台 解体工事の施工

エコテック(株) 〒503-0322 岐阜県海津市平田町土倉江東 478

敷地面積 2,770 m<sup>2</sup> 延床面積 1,250 m<sup>2</sup> 従業員数 13名 所属車両台数 4台

産廃処分量 303t/2024年度 PC、PC機器廃材の解体、リサイクル

### 3 環境経営方針

#### 環境経営方針

当社は、静岡県の企業及び市町村等を中心に多数の顧客を有し、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬・中間処理及びリサイクル関連事業を営んでいます。これらの活動を行う企業として、「地球環境の保全」が人類共通の課題であることを認識し、企業活動のあらゆる面で「地球環境保護」に配慮した事業活動を展開します。

- 1 事業活動に係わる環境影響を認識し、技術的・経済的に可能な範囲で環境経営目標及び環境経営計画を定め、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る
- 2 環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守するとともに、必要に応じて自主管理基準を設定し、維持管理を行う。
- 3 当社は、環境経営方針を達成するために、「守ろう環境、生かそう資源のリサイクル」をスローガンに、事業活動が与える環境影響の中で、次の項目を重点に環境マネジメント活動を行い、定期的に見直しを実施する。
  - 1) 循環型社会構築に寄与する為、受託した廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率向上に努めます。数値目標を定め、継続的改善を図り、その結果を開示いたします。
  - 2) 事業活動で生じる二酸化炭素排出量及び水使用量の削減に取り組みます。  
省エネ、省資源活動を推進します。
  - 3) 地域環境保全に有効な、森林保護育成を目指し、ボランティア活動を実践します。
4. 環境教育の充実を図り、全員参加で取組む。(全従業員及び当社のために働く全ての人に環境経営方針を周知する)
5. 周辺美化運動等により地域環境保全活動に積極的に取組み、住民とのコミュニケーションを大切にする。

制定日平成 23 年 5 月 1 日

改定日令和 3 年 5 月 1 日(Ver3)

株式会社リサイクルクリーン

代表取締役 藤城 太郎

## 実施体制

当社はエコアクション21環境経営システムを構築、運用、維持し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する。実施体制は「(株)リサイクルクリーン エコアクション21組織図」に示し、各自の役割、責任及び権限を定め全従業員に周知する。

### \*社長

- ① 環境経営方針を策定する。
- ② 責任者を選任するとともに、各要員、所定の技能・技術、資金の経営資源を確保する。
- ③ エコアクション21環境経営システム推進体制を策定する。
- ④ 環境経営システムの見直しを行う。
- ⑤ 緊急事態発生時における対応処理の統括的な指揮をとる。
- ⑥ 「環境マネジメントマニュアル」、「全社環境経営目標」、「全社/部門経営計画」を承認する。
- ⑦ 「全社環境経営目標」、「全社/部門環境経営計画」の定期策定、見直しを指示し承認する。
- ⑧ 内部監査チームリーダー/内部監査委員を任命し、内部環境監査の実施を指示する。

### \*環境管理責任者（副環境管理責任者）

- ① エコアクション21:2017年版（産業廃棄物処理業者向けガイドライン）規格の要求事項に適合した環境経営システムを確立、実施、維持及び管理を行う。
- ② 見直し及び環境経営システムの改善の基礎として、社長に環境経営システムの実績を報告する（全社エコアクション21推進会議を毎月一回開催する）。
- ③ 「環境への負荷の自己チェック」を策定する。
- ④ 「環境への取組の自己チェック」を策定する。
- ⑤ 「法規制等登録一覧」を策定する。
- ⑥ 「全社環境経営目標」及び「全社環境経営計画」を策定し、達成の責任を持つとともに、その項目の監視、測定及び不適合の場合の是正及び予防処理を行う。
- ⑦ 部門長が策定した部門の「部門環境経営計画」を審査する。
- ⑧ 社内外のコミュニケーションの統括的な責任を負う。
- ⑨ 「環境マネジメントマニュアル」を作成するとともに、環境経営システムの各文書の整備を指示する
- ⑩ 関連会社への周知、協力の要請等を行う。
- ⑪ 緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。（社長が不在の時は、責任者が代行する）。
- ⑫ 全社に係る環境教育訓練の計画立案及び管理者教育を実施する。

### \*本部事務局長（副本部事務局長）

- ① 環境経営システム文書の作成、管理を行う。
- ② 環境経営システムの構築及び維持管理に関する事務局、並びに責任者の補佐を行う。
- ③ 「全社エコアクション21推進会議議事録」を作成する。

### \*部門長

- ① 責任者が策定する「環境への負荷の自己チェック」の調査に協力する。
- ② 責任者が策定する「環境への取組の自己チェック」の調査に協力する。
- ③ 環境関連法規等の対応を実施する。
- ④ 「部門環境経営計画」を策定し、達成の責任を持つとともに、その項目の監視、測定及び不適合の場合の是正及び予防処置を行う。
- ⑤ 部門エコアクション推進会議を月一回開催する。
- ⑥ 環境に関する一般教育（新入社員教育を含む）の計画立案及び教育を実施する。
- ⑦ 緊急事態への準備及び対応並びに緊急事態発生時における対応処理の指揮をとる。

\* 内部環境監査チームリーダー（略称：内部環境監査 TL）

- ① 内部監査実施計画を作成し、社長の承認を得る。
- ② 内部監査結果を社長に報告する。
- ③ 指摘事項の是正処置結果を確認する。
- ④ 推進会議にて監査結果を報告する。

\* 内部監査員

- ① 内部環境監査 TL の指示に従い、「内部環境監査チェックリスト」に基づき、監査を行う。

\* 部門事務局リーダー（兼副部門長）

- ① 部門長を代行し、部門の環境経営システムを推進する。
- ② 緊急事態発生時における対応処置の指揮をとる。（部門長不在時は代行する）。

\* 部門事務局サブリーダー

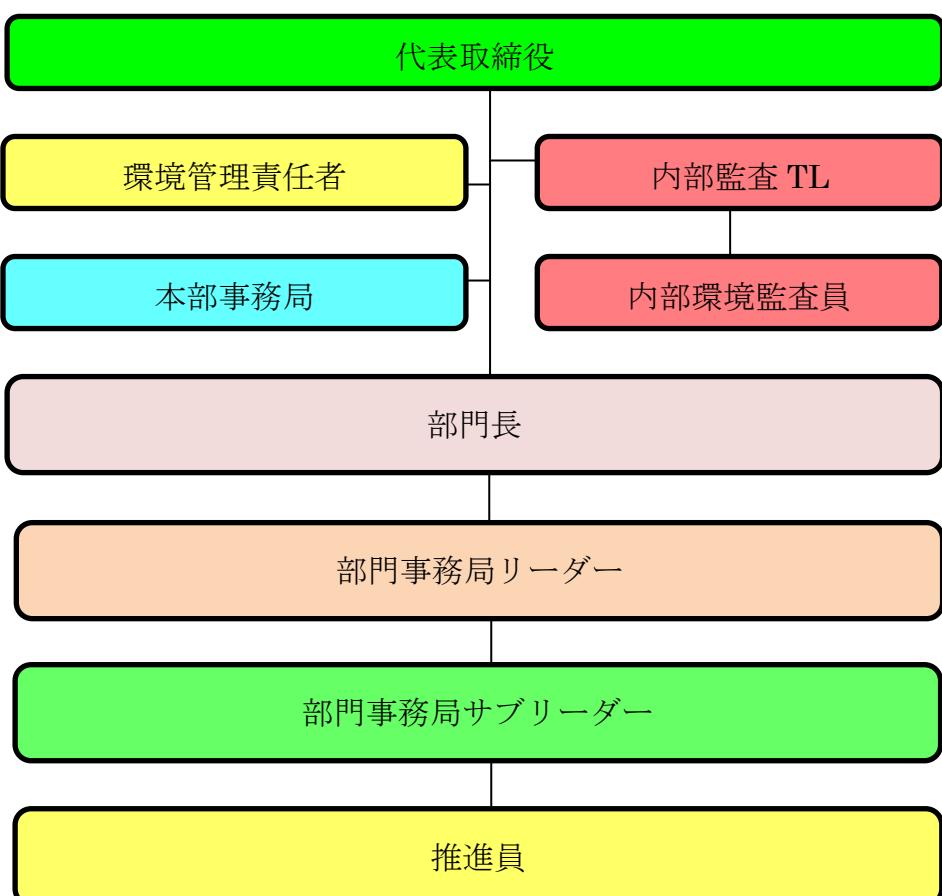
- ① 部門事務局リーダーを補佐し、部門の環境経営システムを推進する。
- ② 部門エコアクション 2.1 推進会議の議事録を作成する。

\* 推進員

- ① 部門の環境経営システムを推進する。

エコアクション組織図

2025.5.1



## 4 環境経営目標 環境経営目標数値の中期3カ年目標①

事業所	項目	2025 年度目標		2026 年度目標		2027 年度目標	
全社	電気使用量	9,258,942	kwh	9,249,683	kwh	9,240,424	kwh
	ガソリン使用量	25,315	リットル	25,290	リットル	25,264	リットル
	軽油使用量(車両)	741,828	リットル	741,086	リットル	740,344	リットル
	軽油使用量(重機)	492,724	リットル	792,231	リットル	491,739	リットル
	LPG使用量	109	m³	109	m³	109	m³
	CO2 排出量	7,542	t	7,535	t	7,520	t
	水使用量	13,776	m³	13,762	m³	13,735	m³
	リサイクル率	89.0	%	89.0	%	89.0	%
	リサイクル率(エコテック)	95.0	%	95.0	%	95.0	%
	森林保護活動	2	回	2	回	2	回
グリーン購入法の推進		グリーン購入の推進と再生材(碎石、木製品等)の使用					
環境に配慮した施工		工事施工時低騒音型重機、排ガス規制対応重機を使用					
営業・事務	電気使用量	55,965	kwh	55,909	kwh	55,853	Kwh
	ガソリン使用量	19,822	リットル	19,802	リットル	19,782	リットル
	LPG使用量	2.2	m3	2.2	m3	2.2	m3
	CO2排出量	72	t	72	t	72	t
本社工場(第一・第二工場)	電気使用量	21,548	kWh	21,526	kWh	21,505	kWh
	軽油使用量(車両)	95,698	リットル	95,602	リットル	95,506	リットル
	軽油使用量(重機)	6,344	リットル	6,338	リットル	6,331	リットル
	CO2排出量	277	t	277	t	276	t
	水使用量	442	m3	442	m3	441	m3
	リサイクル率	78.1	%	78.1	%	78.1	%
大川工場	電気使用量	563,222	kWh	562,659	kWh	542,136	kWh
	軽油使用量(車両)	136,337	リットル	136,201	リットル	136,064	リットル
	軽油使用量(重機)	73,116	リットル	73,043	リットル	72,949	リットル
	LPG使用量	1.2	m3	1.2	m3	1.2	m3
	CO2排出量	807	t	806	t	805	t
	水使用量	2,387	m3	2,385	m3	2,382	m3
	リサイクル率	65.5	%	65.5	%	65.5	%
磐田工場	電気使用量	69,736	kWh	69,666	kWh	69,597	kWh
	軽油使用量(車両)	26,321	リットル	26,295	リットル	26,268	リットル
	軽油使用量(重機)	54,379	リットル	54,325	リットル	54,270	リットル
	LPG使用量	0.7	m3	0.7	m3	0.7	m3
	CO2 排出量	243	t	243	t	242	t
	水使用量	942	m3	941	m3	940	m3

## &lt;二酸化炭素排出量算出係数&gt;

電気→0.459(kg-CO2/kWh) ←株中部電力 2023 年度排出係数

ガソリン→2.322(kg-CO2/MJ) 軽油→2.619(kg-CO2/MJ) LPG→6.214(kg-CO2/MJ)

## 環境経営目標数値の中期3ヵ年目標②

事業所	項目	2024 年度目標		2025 年度目標		2026 年度目標	
岡部工場	電気使用量	225,643	kWh	225,417	kWh	225,192	kWh
	軽油使用量(車両)	83,711	リットル	83,627	リットル	83,544	リットル
	軽油使用量(重機)	74,229	リットル	74,155	リットル	74,081	リットル
	LPG使用量	10	m3	10	m3	10	m3
	CO2排出量	517	t	516	t	516	t
	水使用量	272	m3	272	m3	271	m3
	リサイクル率	74.3	%	74.3	%	74.3	%
袋井工場	電気使用量	628,445	kWh	627,817	kWh	627,188	kWh
	軽油使用量(車両)	94,566	リットル	94,471	リットル	94,377	リットル
	軽油使用量(重機)	79,719	リットル	79,639	リットル	79,560	リットル
	LPG使用量	18	m3	18	m3	18	m3
	CO2 排出量	746	t	745	t	744	t
	水使用量	567	m3	566	m3	566	m3
	リサイクル率	69.0	%	69.0	%	69.0	%
袋井RPF工場	電気使用量	4,577,942	kWh	4,573,364	kWh	4,568,786	kWh
	軽油使用量(重機)	77,902	リットル	77,824	リットル	77,746	リットル
	LPG 使用量	20	m3	20	m3	20	m3
	CO2 排出量	2,305	t	2,303	t	2,302	t
	水使用量	2,489	m3	2,487	m3	2,484	m3
桜台工場	電気使用量	2,847,330	kWh	2,844,483	kWh	2,841,635	kWh
	軽油使用量(車両)	111,129	リットル	111,018	リットル	110,907	リットル
	軽油使用量(重機)	99,487	リットル	99,388	リットル	99,288	リットル
	LPG 使用量	43	m3	43	m3	43	m3
	CO2 排出量	1,868	t	1,866	t	1,864	t
	水使用量	6,882	m3	6,875	m3	6,868	m3
	リサイクル率	79.3	%	79.3	%	79.3	%
浜松営業所	電気使用量	168,495	kWh	168,327	kWh	168,158	kWh
	軽油使用量(車両)	173,076	リットル	172,903	リットル	172,730	リットル
	軽油使用量(重機)	7,645	リットル	7,637	リットル	7,630	リットル
	LPG使用量	17	m3	17	m3	17	m3
	CO2 排出量	551	t	550	t	550	t
	水使用量	360	m3	360	m3	360	m3
協同C	電気使用量	13,785	kwh	13,771	kwh	13,757	kwh
	CO2 排出量	6	t	6	t	6	t
	水使用量	82	m3	82	m3	82	m3

## &lt;二酸化炭素排出量算出係数&gt;

電気→0.459(kg-CO2/kWh) ←(株)中部電力 2022 年度排出係数

ガソリン→2.322(kg-CO2/MJ) 軽油→2.619(kg-CO2/MJ) LPG→6.214(kg-CO2/MJ)

## 環境経営目標数値の中期 3 カ年目標③

事業所	項目	2024 年度目標		2025 年度目標		2026 年度目標	
不動産部	電気使用量	2,509	kwh	2,506	kwh	2,504	kwh
	ガソリン使用量	1,053	リットル	1,052	リットル	1,051	リットル
	CO2 排出量	4	t	4	t	4	t
	水使用量	25	m3	25	m3	25	m3
解体班	ガソリン使用量	1,285	リットル	1,284	リットル	1,282	リットル
	軽油使用量(車両)	14,938	リットル	14,923	リットル	14,908	リットル
	軽油使用量(重機)	19,903	リットル	19,883	リットル	19,863	リットル
	CO2 排出量	94	t	94	t	94	t
	グリーン購入法の推進	グリーン購入の推進と再生材(碎石、木製品等)の使用					
環境に配慮した施工		工事施工時低騒音型重機、排ガス規制対応重機を使用					
エコテック(株)	電気使用量	63,872	kwh	63,808	kwh	63,744	kwh
	ガソリン使用量	3,155	リットル	3,152	リットル	3,149	リットル
	軽油使用量(車両)	6,052	リットル	6,046	リットル	6,040	リットル
	CO2 排出量	53	t	53	t	53	t
	リサイクル率	95.0	%	95.0	%	95.0	%

## &lt;二酸化炭素排出量算出係数&gt;

電気→0.459(kg-CO2/kWh) ←(株)中部電力 2023 年度排出係数

ガソリン→2.322(kg-CO2/MJ) 軽油→2.619(kg-CO2/MJ) LPG→6.214(kg-CO2/MJ)

## Solar power

## 太陽光パネル、順調に稼働中



都田発電所 1



都田発電所 2



都田発電所北側



袋井工場



袋井 RPF 工場



桜台工場

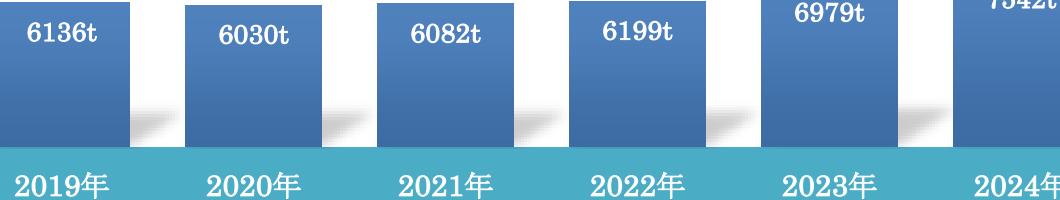
発電量、二酸化炭素削減量は当社ホームページにてリアルタイムでご覧いただけます  
ご来訪をお待ちしております。

こちらから <http://www.recycle-clean.co.jp/>

## 5 環境経営計画の内容と取組結果の評価①

環境経営計画の内容	評価	次年度
<p>1 二酸化炭素総排出量の削減</p> <p>(ア) 燃費の向上 エコドライブの実践、 作業効率アップ。 解体現場重機等の燃費向上。</p> <p>(イ) 電力使用量の削減 日中の点灯照明削減。 残業の削減。 空調温度設定の適正化。</p>	<p>① アイドリングストップの実践 作業手順を工夫し効率化</p> <p>② 日中の照明器点灯数を調整した 労務管理申請書の整備と運用に より残業時間の把握をした。</p>	継続 継続

## 二酸化炭素排出量の推移



2 廃棄物のリサイクル率向上と維持	(目標 88%に対し実績 87.9%)	
<p>① 従業員のコスト意識の向上 埋立処分及び焼却処分原価の周知に より、原価意識の向上を図る。</p> <p>② 有価物の選別強化 選別ラインマニュアルの見直し。 人員配置の再考。</p> <p>③ リサイクル対象品の再確認</p> <p>④ 写真、実物などで具体的に対象品を示 すことで認知度を向上させる。</p> <p>⑤ 分別解体によるリサイクル率 UP</p> <p>⑥ 不適合品の返却</p>	<p>① リサイクル率の一覧表を作成し、 意識の向上に努めた。</p> <p>② 人事異動、役割変更を行い、適 正化を進めた。</p> <p>③ RPF 原料のパンフレット等を作成 し周知に努めた。</p> <p>⑥ 工場、営業担当が連携し処理</p>	継続 継続 継続 継続
		継続

## リサイクル率の推移



## 5 環境経営計画の内容と取組結果の評価②

3 総排水量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 節水の呼びかけ。 会議、朝礼時の周知</li> <li>② 具体的な手段、計画 散水計画の立案と実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 会議、朝礼等で呼びかけを行つた</li> <li>② 空気乾燥期に計画的に散水</li> </ul>	継続 継続
-----------	--	---	----------

### 水使用量の推移



4 森林保護育成活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 育成活動実行計画策定 本年度実施計画、年2回</li> <li>② 参加の呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 年2回実施 21名参加 (作業7/20、11/30に実施)</li> <li>② 朝礼、社内報等で周知。</li> </ul>	継続 継続
---------------	---	--	----------



「森づくり C.S.R.トラスト(静岡県西部森づくり C.S.R.協働推進協議会)」に加盟をして、  
「プレンティアの森」を主催しています。(年2回実施)

5 グリーン購入法の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 用具、備品は対象品を購入</li> <li>② 再生材、再生碎石を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 優先購入している</li> <li>② 再生材、再生碎石を利用している</li> </ul>	継続
6 環境に配慮した施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 低騒音重機、低公害重機の使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用している。</li> </ul>	継続

## 6 環境経営目標数値の実績と評価

\* ○=計画通り ×=未達成

表6-1

事業所	項目	2024 年度目標		2024 年度実績		評価
全社	電気量使用量	8,469,511	kWh	9,258,492	kWh	×
	ガソリン使用量	28,361	リットル	25,315	リットル	○
	ガソリン車燃費	20.3	km/ℓ	19.7	km/ℓ	×
	軽油使用量(車両)	741,828	リットル	740,881	リットル	○
	軽油車燃費	5.4	km/ℓ	5.2	km/ℓ	×
	軽油使用量(重機)	492,724	リットル	475,719	リットル	○
	LPG使用量	113	m3	109	m3	○
	CO2 排出量	6,979	t	7,542	t	
	カーボンオフセット	(プレンティアの森)		10	t	×
	差引後排出量			7,532	t	
	リサイクル率	88.0	%	87.9	%	×
	水使用量	12,559	m3	13,776	m3	×
	森林保護活動	2	回	2	回	○
	グリーン購入法の推進	グリーン購入の推進と再生材(碎石、木製品等)の使用			隨時	○
	環境に配慮した施工	工事施工時低騒音型重機、排ガス規制対応重機を使用			隨時	○

部門別の環境経営目標数値の実績と評価①

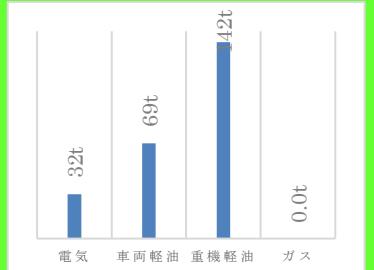
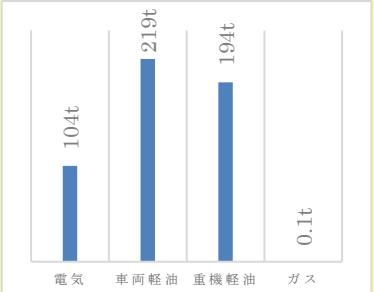
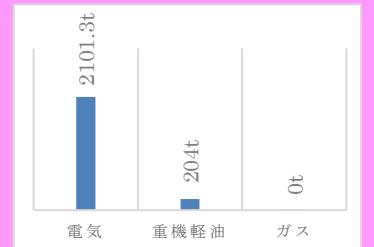
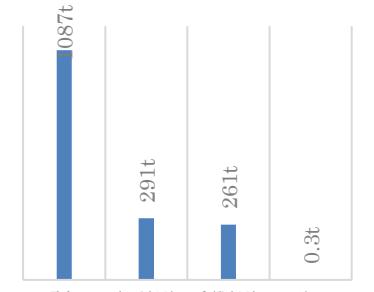
表6-2

事業所	項目	2024 年度目標		2024 年度実績		評価	用途別排出量 CO2 排出量
営業・事務所	電気使用量	54,114	kWh	55,965	kWh	×	
	ガソリン使用量	23,617	リットル	19,822	リットル	○	
	LPG使用量	9	m3	2	m3	○	
	CO2 排出量	79	t	72	t	○	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	
本社工場	電力使用量	17,340	kWh	21,548	kWh	×	
	軽油使用量(車両)	93,202	リットル	95,698	リットル	×	
	軽油使用量(重機)	4,393	リットル	6,344	リットル	×	
	CO2 排出量	264	t	277	t	×	
	リサイクル率	77.4	%	78.1	%	○	
	水道使用量	397	m3	442	m3	×	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	
大川工場	電力使用量	664,988	kWh	563,222	kWh	○	
	軽油使用量(車両)	157,421	リットル	136,337	リットル	○	
	軽油使用量(重機)	71,259	リットル	73,116	リットル	×	
	LPG使用量	0.01	m3	1.2	m3	×	
	CO2 排出量	904	t	807	t	○	
	リサイクル率	70.2	%	64.5	%	×	
	水使用量	2,932	m3	2,387	m3	○	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	

## 部門別環境経営目標数値の実績と評価②

\* ○=計画通り ×=未達成

表6-3

事業所	項目	2024 年度目標		2024 年度実績		評価	用途別排出量 CO2 排出量
磐田工場	電気使用量	69,774	kWh	69,736	kWh	○	
	軽油使用量(車両)	26,512	リットル	26,321	リットル	○	
	軽油使用量(重機)	57364	リットル	54,379	リットル	○	
	LPG使用量	0.7	m3	0.7	m3	○	
	CO2排出量	252	t	243	t	○	
	水道使用量	1,001	m³	942	m³	○	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	
岡部工場	電気使用量	222,531	kWh	225,643	kWh	×	
	軽油使用量(車両)	89,182	リットル	83,711	リットル	○	
	軽油使用量(重機)	75,263	リットル	74,229	リットル	○	
	LPG使用量	5	m3	10	m3	×	
	CO2 排出量	533	t	517	t	○	
	リサイクル率	79.4	%	73.3	%	×	
	水道使用量	250	m³	272	m³	×	
袋井工場	電気使用量	661,164	kWh	628,445	kWh	○	
	軽油使用量(車両)	83,844	リットル	94,566	リットル	×	
	軽油使用量(重機)	79,572	リットル	79,719	リットル	×	
	LPG使用量	24.8	m3	18.3	m3	○	
	CO2 排出量	732	t	746	t	×	
	リサイクル率	68.9	%	68.0	%	×	
	水道使用量	601	m³	567	m³	○	
袋井RPF工場	電力使用量	3,765,494	kWh	4,577,942	kWh	×	
	軽油使用量(重機)	65,870	リットル	77,902	リットル	×	
	LPG使用量	16.9	m3	20.0	m3	×	
	CO2 排出量	1,901	t	2,305	t	×	
	水道使用量	2,440	m³	2,489	m³	×	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	
桜台工場	電気使用量	2,734,411	kWh	2,867,330	kWh	×	
	軽油使用量(車両)	93,101	リットル	111,129	リットル	×	
	軽油使用量(重機)	87,244	リットル	99,487	リットル	×	
	LPG使用量	45.8	m3	42.5	m3	○	
	CO2 排出量	1,728	t	1,868	t	×	
	リサイクル率	83.5	%	78.3	%	×	
	水道使用量	4,279	m³	6,882	m³	×	
森林保護活動	2	回	2	回	○		

## 部門別環境経営目標数値の実績と評価③

\* ○=計画通り ×=未達成

表6-4

事業所	項目	2024 年度目標		2024 c c 年度実績		評価	用途別排出量 CO2 排出量
浜松営業所	電気使用量	205,696	kWh	168,495	kWh	×	
	軽油使用量(車両)	172,589	リットル	173,076	リットル	×	
	軽油使用量(重機)	8,149	リットル	7,645	リットル	○	
	LPG使用量	10.6	m3	16.5	m3	○	
	CO2 排出量	569	t	551	t	○	
	水道使用量	568	m3	551	m3	○	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	
協同センター	電気使用量	12,740	kWh	13,785	kWh	×	
	CO2排出量	6	t	6	t	×	
	水道使用量	54	m3	82	m3	×	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	
不動産部	電気使用量	2,454	kWh	2,509	kWh	×	
	ガソリン使用量	1,006	リットル	1,053	リットル	×	
	CO2排出量	4	t	4	t	×	
	水道使用量	23	m3	25	m3	×	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	
解体班	ガソリン使用量	1,176	リットル	1,285	リットル	×	
	軽油使用量(車両)	19,419	リットル	14,938	リットル	○	
	軽油使用量(重機)	26,605	リットル	19,903	リットル	○	
	CO2排出量	123	t	94	t	○	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	
	グリーン購入法 の推進	グリーン購入の推進と再生材 (碎石、木製品等) の使用				○	
	環境に配慮した 施工	工事施工時低騒音型重機、排ガス規制対応 重機を使用				○	
エコテック(株)	電気使用量	58,823	kWh	63,872	kWh	×	
	ガソリン使用量	2,562	リットル	3,155	リットル	×	
	軽油使用量(車両)	5,611	リットル	6,052	リットル	×	
	CO2 排出量	48	t	53	t	×	
	リサイクル率	94.8	%	95.0	%	○	
	森林保護活動	2	回	2	回	○	

&lt;二酸化炭素排出量算出係数&gt;

電気→0.459(kg-CO2/kWh) ←(株)中部電力 2023 年度排出係数

ガソリン→2.322(kg-CO2/MJ) 軽油→2.619(kg-CO2/MJ) LPG→6.214(kg-CO2/MJ)

※2024 年度も、引き続き前年の実績を目標値として設定し活動をしてまいりました。袋井RPF工場と桜台工場の電力消費が増加したことが要因で、CO2 の排出量は 8%ほど増加しました。両工場とも処理困難物を RPF 化するにあたり電力の負荷が増えたことが原因と考えられます。その他の項目に関しては、ほぼ前年同様の水準で推移しました。会社の経営目標でもあるリサイクル率 88%に関しては前年の実績値の+0.4%(87.9%)で終了、目標値まであと▲0.1%という結果になりました。2025 年の目標値は 89%に設定しました。昨年同様、出荷先の新規開発、RPF、再生砕石の販売先拡大、製造量増加を実現させ目標達成を目指します。水道の使用量に関しては使用量前年比 109.7%、の大幅な増加となりました。原因については夏の暑さ対策での散水、冬の乾燥時の散水を積極的に実施した結果だと考えられます。森林保護活動は春、秋 2 回開催いたしました。今後、春の開催に関しては気温上昇の関係で開催時期を前倒しして実施してゆきます。2025 年度に関しては、自家発電の設備が順次稼働します、電気使用量の劇的な変化が予測されます。2024 年度に増加してしまった CO2 排出量に関しては前出の自家発電の効果で大幅な減少が予測されます。加えて引き続き節電、節水、エコドライブ心がけ CO2 削減に貢献できるような活動にしてゆきたいと考えます。

#### 7. 環境関連法規への違反、訴訟等

確認日 2025 年 6 月 2 日

対象環境関連法規	違 反	訴 訟
水質汚濁防止法(貯油タンク)	無	無
下水道法(第一、桜台、浜松営業所)	無	無
浄化槽法(上記以外の事業所)	無	無
騒音規制法(コンプレッサー、集塵機)	無	無
振動規制法(コンプレッサー)	無	無
悪臭防止法	無	無
高圧ガス保安法(LPG 利用事業所)	無	無
消防法(貯油タンク、RPF、BDF 等)	無	無
PCB 特別措置法	無	無
フロン排出抑制法	無	無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	無	無
家電リサイクル法	無	無
建設リサイクル法	無	無
自動車リサイクル法	無	無
オフロード法	無	無
NOx、PM法	無	無

\* 違反等は、過去3年間ありません。

事務局 鈴木高史

#### 8. 住民協定への違反、訴訟等確認日

確認日 2025 年 6 月 2 日

周辺住民、自治体等との協定		違 反	訴 訟
大川工場	天竜川水質保全に関する協定書(漁業組合)	無	無
岡部工場	環境保全協定書(藤枝市岡部町)	無	無
	町内会との協定書(藤枝市殿町)	無	無
	近隣地主との覚書	無	無
袋井工場	環境保全協定書(袋井市)	無	無
	自治会との協定書(袋井市村松西自治会)	無	無
桜台工場	環境保全協定書(和地地区自治会連合会)	無	無

\* ステークホルダーとの訴訟事件等は、過去3年間ありません。

事務局 鈴木高史

## 9 代表者による全体の評価と見直しの結果(マネジメントレビュー)

(株)リサイクルクリーン  
12.代表者による全体の評価と見直し

EAR-13-01

2024年度 第1回 マネジメントレビュー  
マネジメントレビューの記録

作成: 2025年6月10日

承認 	確認 山田知毅 <責任者>	作成 山田知毅 <責任者>
--------	---------------------	---------------------

インプット情報	報告事項	担当	報告内容			
			a) 外部審査／内部監査の結果、法的要要求事項及びその他の要要求事項の順守評価の結果			
			責任者 2024年10月に実施された中間審査に於いて3件のS評価がありました。審査において、推奨事項または改善するとよい事項はありませんでした。			
			2025年5月に実施された内部監査において、不適合はありませんでした。軽微な指摘事項は全て改善されていました。			
			b) 事故・苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション			
アウトプット	C) 環境活動計画の達成状況	職場長	" 全体事故件数121件 重大事故1件 リフト関連16件 重機関連12 労災5件 出荷先(トクヤマセメント、レックス島田)より異物混入、(住友大阪、ミダック)より発塵レゾナック川崎より製品の品質不良においてのクレーム。 浜松営業所において計量ミス 車両通行の際のマナー違反			
			2023年の実績数値を基に目標数値を設定しました。 ・リサイクル率については88%目標に対して87.9%で若干の未達となりま ・車両、重機軽油使用量未達についてはアドブルー使用車両が増え、燃焼のために燃料を消費してしまう事が要因です。			
			D) 本マネジメントシステムに影響のある変化している周囲の状況			
			" ・カーボンニュートラルの動向 ・半導体ショック等による廃棄物の減少 ・化石燃料の高騰 ・産業廃棄物の適正処理及びリサイクル率向上に対する要望の高まり			
アウトプット	変更の必要性		決定及び処置		処置の検証 (責任者)	
	① 環境経営方針 □要/□不要		変更なし		 検証 2025年 6月 13日	
	② 環境経営計画、目標 □要/□不要		変更なし (1)要/□不要 (b)		 検証 2025年 6月 13日	
	③ EA21のその他の要素 □要/□不要		事故、クレームに対する 報告書確認、是正内容 確認		 検証 2025年 6月 13日	
	④ 実施体制の見直し □要/□不要		変更なし		 検証 2025年 6月 13日	
【備考】						

保管 3年間

## 添付資料

### 環境経営目標及び環境経営計画の策定

株)リサイクルクリーン

4.環境目標及び環境活動計画の策定

EAB-

2025年度 EA21 全社環境経営目標

改定	2025年6月2日	改訂
改定	2024年6月1日	改訂
改定	2023年6月1日	改訂
改定	2022年6月1日	改訂
制定	2021年6月1日	新規制定

承認	藤城太郎	作成	山田知毅	作成	鈴木義史
<統括責任者>					<責任者>

No.	会社 との 連絡	全社環境目標	2025年度			2026年度			2027年度		
			日 程		施 管	指 当	日 程		施 管	指 当	日 程
			上 期	下 期			上 期	下 期			上 期
1		二酸化炭素排出量の削減	①節電活動を推進する 山田 節電使用量の削減	①節電機器を導入する 山田	①節電機器を導入する 山田	①節電機器を増加する 山田	①節電機器を増加する 山田	①節電機器を増加する 山田	①節電機器を増加する 山田	①節電機器を増加する 山田	①節電機器を増加する 山田
		2022年度のCO2排出目標は 2021年度の排出量で設定、 6,074,69kg-CO2を毎年△ 0.1%で削減する。 当年の目標量を追加 (終)エコテック(100%子会社)	②省エネ運動を推進する 山田 省電の向上	②省エネ運動を徹底する 山田	②省エネ運動を徹底する 山田	②省エネ運動を定着させる 山田	②省エネ運動を定着させる 山田	②省エネ運動を定着させる 山田	②省エネ運動を定着させる 山田	②省エネ運動を定着させる 山田	②省エネ運動を定着させる 山田
		1)	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機	③省エネ車両、重機を導入する 市川 重機
			目標値 7,542,399 kg-CO <sub>2</sub> 効果 100.0% (対2024年度実績)	目標値 7,534,857 kg-CO <sub>2</sub> 効果 △ 0.1% (対2024年度実績)		目標値 7,534,857 kg-CO <sub>2</sub> 効果 △ 0.2% (対2024年度実績)					
2		廃棄物のリサイクル率向上 (エコテック)	①全分別ルールの再教育 山田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 山田 手帳に基づく分別ルールの教育実施	①全分別ルールの再教育 山田 手帳に基づく分別ルールの教育実施	①全分別ルールの再教育 山田 手帳に基づく分別ルールの教育実施	①全分別ルールの再教育 山田 手帳に基づく分別ルールの教育実施	①全分別ルールの再教育 山田 手帳に基づく分別ルールの教育実施	①全分別ルールの再教育 山田 手帳に基づく分別ルールの教育実施	①全分別ルールの再教育 山田 手帳に基づく分別ルールの教育実施	①全分別ルールの再教育 山田 手帳に基づく分別ルールの教育実施
		2)	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施	②再生資源化の出荷量の拡大 山田 再資源化品目の再教育実施
			③RPF、再生砂石製造量 各部門	③RPF、再生砂石製造量 各部門	③RPF、再生砂石製造量 各部門	③RPF、再生砂石製造量 各部門	③RPF、再生砂石製造量 各部門	③RPF、再生砂石製造量 各部門	③RPF、再生砂石製造量 各部門	③RPF、再生砂石製造量 各部門	③RPF、再生砂石製造量 各部門
			目標値 89 % (リサイクル率) 効果 + 1.1 % (対2024年度実績)	目標値 89 % (リサイクル率) 効果 + 1.1 % (対2024年度実績)		目標値 89 % (リサイクル率) 効果 + 1.1 % (対2024年度実績)					
3		廃棄物のリサイクル率向上 (エコテック)	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施	①全分別ルールの再教育 坂田 分別ルールの見直し・再教育実施
		2)	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底	②素材分別の徹底 坂田 素材分別の徹底
			目標値 95 % (リサイクル率) 効果 ± 0 % (対2024年度実績)	目標値 95 % (リサイクル率) 効果 ± 0 % (対2024年度実績)		目標値 95 % (リサイクル率) 効果 ± 0 % (対2024年度実績)					
4		給排水水の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減	①節水活動を推進する 山田 水道使用量の削減
		2022年度の目標値を11,187m <sup>3</sup> に設定し、毎年0.1%ずつ減少 させます。	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する	②漏水の点検/修理を実施する 山田 漏水の点検/修理を実施する
		1)	目標値 13,776 m <sup>3</sup> 効果 100.0% (対2024年度実績)	目標値 13,762 m <sup>3</sup> 効果 △ 0.1% (対2024年度実績)		目標値 13,762 m <sup>3</sup> 効果 △ 0.2% (対2024年度実績)					
5		環境保全活動の推進	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認	①環境保全活動計画の承認 北島 環境立案～承認
			②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成	②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成	②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成	②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成	②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成	②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成	②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成	②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成	②環境保全活動の実行計画作成 北島 実行計画作成
			森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。	森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。	森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。	森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。	森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。	森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。	森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。	森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。	森林保護育成活動及び清掃活動 を各2回/年実施する。
		2)	目標値 各 2回/年	目標値 各 2回/年		目標値 各 2回/年					
6		クリーン購入法の推進	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門	①物品購入時、クリーンマークがあるか確認 各部門
			②コストとのバランスを考慮し購入 各部門	②コストとのバランスを考慮し購入 各部門	②コストとのバランスを考慮し購入 各部門	②コストとのバランスを考慮し購入 各部門	②コストとのバランスを考慮し購入 各部門	②コストとのバランスを考慮し購入 各部門	②コストとのバランスを考慮し購入 各部門	②コストとのバランスを考慮し購入 各部門	②コストとのバランスを考慮し購入 各部門
		3)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)	③再生材を使用する (建設工事、鉢石、木材等)
7		環境に配慮した施工	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎	①騒音振動物騒音防止への配慮 山崎
			②低騒音型重機の使用 山崎	②低騒音型重機の使用 山崎	②低騒音型重機の使用 山崎	②低騒音型重機の使用 山崎	②低騒音型重機の使用 山崎	②低騒音型重機の使用 山崎	②低騒音型重機の使用 山崎	②低騒音型重機の使用 山崎	②低騒音型重機の使用 山崎
		3)	③排ガス規制対応重機の使用 山崎	③排ガス規制対応重機の使用 山崎	③排ガス規制対応重機の使用 山崎	③排ガス規制対応重機の使用 山崎	③排ガス規制対応重機の使用 山崎	③排ガス規制対応重機の使用 山崎	③排ガス規制対応重機の使用 山崎	③排ガス規制対応重機の使用 山崎	③排ガス規制対応重機の使用 山崎
			目標値 各 2回/年	目標値 各 2回/年		目標値 各 2回/年					

## 会社組織図

株式会社リサイクルクリーン 2025年度 組織図

